

# 電子楽器の老舗メーカーが

# 「音楽の未来」をつくる

科学技術の発展とともに、二昔前まで想像もできなかった電子楽器を生み続ける「ローランド」の魅力に迫る！

## そこにははずのピアノが突然現れる!!

ヴァーチャルリアリティ(仮想現実)という言葉をご存知だろうか。例えば、宇宙飛行士が訓練をする際に宇宙空間と全く同じ状況を生み出すように、さまざまな空間を再現する最先端技術の事だ。目の前にある奥行150センチのグランドピアノが、ツマミを捻るだけで奥行300センチ近くある大型のボディに変化する、というわけではないが、その音だけを見事に再現する夢のようなピアノがある。



夢の電子ピアノ「V-Piano Grand」。スピーカーを本体のあちこちに取り付け、豊かで奥行きのあるサウンドも実現。

違っている。アコースティックピアノを構成する弦、ハンマー、響板、ダンパーなどによる発音原理そのものをデジタルで再現。弾き手の繊細な「振る舞い」をも表現するというその素晴らしい音色を、素人がアコースティックピアノと聞き分けられるのは、はつきり言っても無理だろう。目をつむれば、そこにあるはずのないコンサートグランドピアノの音を存分に堪能できる豊かな性能は、ヴァーチャルリアリティさながらだ。

## 「世界初」をいくつも生み出すグローバルカンパニーの推進力

電子・電気のみならずあらゆる可能性を追求し「音楽の未来」を探り続けてきたローランド。「40年ほど前に発売したシンセサイザーは260万円もするの」に、基本的に1音しか同時に出まらなかった。和音が出せなかった。それが今では十分の一の値段で和音どころか鍵盤の端から端まで一気に押しても、全部音が出ますよ。(ローランドの広報「海江田さん」)。科学技術の発達とともに、世界の電子楽器業界を牽引してきた同社は、1972年のリズムマシン発売以来、わずか40年で世界各国にいくつもの拠点を持つ大企業に成長。アメリカ、ブラジル、イギリス、中国、ロシア、オーストラリアなど、今では「音楽スタジオでローランド製品がないところはない」と言われるほどだ。

同社の浜松研究所には数々の過去の製品が展示され、数えきれないほど至る所に「世界初」「国産初」と書かれた札が掛けられている。目まぐるしい成長を遂げた企業の推進力の源は、既成概念にとらわれず自由な発想で常に新しいものを生み出す「想像力」と「創造力」にあるようだ。



【写真左】1976年に発売された国産初的大型システム・シンセサイザー「SYSTEM-700」。総重量100kgを超えるかなり大きな機材だった。【上】1987年発売の「D-50」。デジタル・シンセサイザーでありながら、直感的な音作りが可能。その操作性と音質の良さで、世界的ベストセラーに。

これまでの常識を打ち破る電子ドラム「V-Drums」TD-30KV-SJ」。スーパーナチュラルを採用し、ドラマーの醸し出す「グルーブ」や、奏法に応じた楽器独特の「振る舞い」を完全に表現。叩く場所や力加減によりまったく違う音を出すハイクオリティサウンドは、まさにアコースティックドラムそのもの。



## ギタリストのためのブランド「BOSS」

ローランドのグループ企業である「BOSS」。1977年に発売された代表的な製品であるコンパクト・エフェクター・シリーズは、その音の良さや性能が評価され、時代を超えて多くのギタリストに愛され続けている。また、そのシンプルで完成された外観は発売当初から現在まで続いており、2011年には「グッドデザイン・ロングライフデザイン賞」も受賞した。

## Roland ローランド株式会社

1972年設立。シンセサイザーや電子ピアノをはじめ、革新的な電子楽器を数多く発売してきた世界を股にかける企業。アコースティック製品はひとつもなく、電子楽器にこだわり続ける。「ローランドミュージックスクール」などの音楽教育も展開。近年では映像機器にも力を入れており、業界から注目を浴びている。

〈本社〉浜松市北区細江町中川2036-1 TEL.053-523-0230  
http://www.roland.co.jp/

ようこそ! 音楽のまちへ

# 音色が広がる 浜松の玄関口

浜松を訪れる人々を出迎えてくれる「玄関口」の音楽スポットを一挙紹介!

## 電車の玄関口

【JR浜松駅周辺】

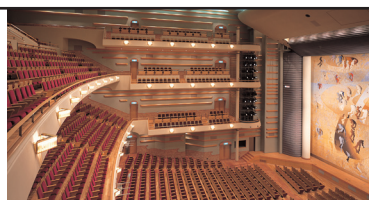
浜松駅に降り立つと、周辺に溢れる音楽の多さに驚く。JR浜松駅内のコンコースにある企画展示ブースから響くピアノの音色、駅を出ると辺りを包み込む吹奏楽団の演奏、見上げた先にある超高層ビル「アクトタワー」で行なわれるコンサートの数々。浜松駅周辺は、訪れる人々を音楽でもてなししてくれる。



カワイグランドピアノの最高峰「Shigeru Kawai」、透明の「クリスタルピアノ」を展示。(試奏可能) ゆかりのあるアーティスト、ロシアの「ミハイル・ブレトニョフ氏」、X JAPANの「YOSHIKI氏」も紹介している。\*2015年6月まで展示

## 1 JR浜松駅 東海道新幹線コンコース

## 2 アクトシティ浜松



2014年で20周年を迎えたアクトシティは、県内一の高層建築物。JR浜松駅直結でアクセスの良さは抜群。日本初の四面舞台を持つ大ホールなど、複数のコンサートホールを持つ。



## オークラアクトシティホテル浜松

客室はアクトタワーの上層階にあり、「音楽のまち」を意識したインテリアが散りばめられている。トランペットをイメージした柱や鍵盤模様の床のほか、エレベーターなどに楽譜が描かれている。



## 3 プロムナードコンサート

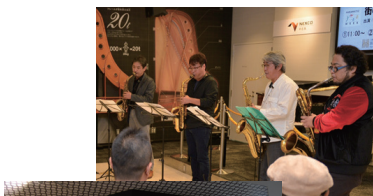
JR浜松駅北口広場「キタラ」で毎週土曜日に行われている吹奏楽コンサート。昭和59年から継続され、中高生やアマチュアバンドが演奏を披露している。\*開催月は4月～7月、9月、10月。



## 車の玄関口

【新東名 浜松サービスエリア NEOPASA浜松】

車で浜松を訪れるならぜひ立ち寄りたのが、新東名浜松サービスエリア「ネオパサ浜松」。建物にはピアノの鍵盤が描かれており「音楽のまち」にきたことを実感できる。施設内の「ミュージックスポット」では、地元メーカーの楽器に触れられるだけでなく、週末に上下線のどちらかで開催されるミニコンサートも無料で聴ける。誰でも気軽に音楽を楽しめるスポットだ。



ネオパサ浜松のテーマは「音のある風景」。音楽をテーマにしたサービスエリアは全国でも珍しい。



## 1 ネオパサ浜松 ミュージックスポット

〈上り〉ヤマハ 落語家・柳家花緑さんのナビゲートでピアノの製造工程を紹介する「ピアノ工場 パーチャルツアー」や部品の展示など、ピアノの魅力が満載。



〈下り〉ローランド 電子ピアノや電子ドラムなどを自由に演奏できるほか、プロが演奏する電子楽器の音と映像をタッチパネルで体験できる。

